

### 平成11年度千葉市図書館情報ネットワーク協議会 総会報告

5月21日、放送大学附属図書館において平成11年度総会を開催し、28加盟館のうち23館のご出席をいただき総会は成立しました。

なお、総会での審議事項はすべて承認されております。また、異動のあった役員については後任者が残任期間を務めることを確認いたしました。

#### 《総会次第》

##### 1. 開会行事

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| (1)開会挨拶       | 斎藤事務局長             |
| (2)会長挨拶       | 竹内会長（千葉経済大学総合図書館長） |
| (3)千葉市教育委員会挨拶 | 田村千葉市教育委員会生涯学習部長   |
| (4)歓迎挨拶       | 大澤放送大学学園事務局長       |

##### 2. 議事

- (1)役員の補充について
- (2)平成10年度事業実施報告並びに会計報告
- (3)監査報告 横田監査（シャープ㈱技術本部技術情報センター係長）
- (4)平成11年度事業計画
- (5)平成11年度会計予算
- (6)その他 機関紙発行について

総会終了後の研修会では、新進作家の佐藤洋二郎氏（1995年に野間文芸新人賞・1999年芸術選奨文部大臣新人賞を受賞）による「私の文学的磁場」と題する講演及び放送大学構内・附属図書館の見学を行いました。



ヘッダーのデザインは千葉大学附属図書館佐々木英子さんの作品です

この研修には、会員37名の他、ジェトロ・アジア経済研究所図書館・植草学園短期大学図書館が加盟を前提として参加していただきました。さらに一般の参加者13名を加え総勢52名を数え、盛況のうちに実のある研修となりました。

会場となった放送大学では、放送スタジオ見学、附属図書館の貴重本の特別公開などを含め便宜を図っていただきました。

また、6時からホテルスプリングス幕張を会場として懇親会を実施しましたが、自費参加にもかかわらず25名の参加があり、講師の佐藤洋二郎先生を囲んで、和気藹々の雰囲気の中に懇親を深めたことをご報告いたします。



## 「私の文学的精神磁場」(佐藤洋二郎氏)の講演を聞いて

河野 和城さん(北部図書館副館長)

作家「佐藤洋二郎」に触れることができた。正直言って、氏の作品群を読んだこともないし、作風も知らない。

演題から、日本人論・日本精神論といったものを期待したのかも知れない。現代は「価値観の多様化の時代」という。果たしてそうなのか? 国旗も国家も拒否し、果ては過去の歴史をも棄却し、それならばいっそのこと日本国籍を捨ててしまえばいいものを、それも出来ず彷徨する日本人に、そんな形容詞が当てはまるのか? 没価値・自己否定であり自らのアイデンティティの喪失ではないか、そんな風に考えていたから……。

講演は、静謐の中に氏自らの作風を語りながら進められていく。氏の精神風土は、やはり郷土の福岡にあり、そして父権の失墜が指摘されて久しい中、父親の箴言であった。この段は、まさしく教育論というべきものであった。

父親の教えは、勉強するな! 盗みを働くな! ウソをつくな! 弱いものイジメはするなであった。氏はヌスミとウソの禁句は犯したものの、他は守り続けていて、矜持として作風に生かしているものであった。

猛勉強の末に、東大に入り、一流企業に就職しても不惑を過ぎる頃から金銭感覚が麻痺し、失墜していく者のなんと多いことか……。

イジメは差別と同義であり、人は元来孤独な生きものであり、たとえ一時的に群衆と一体感ヲ得ても、やはり寂寥感に包まれるものである。

イジメ・差別は、そうした人間らしさをさらに孤独に陥れる。氏は糊口をしのぐため、日雇い労働に従事するが、その中で差別される多くの外国人労働者を見てきた。弱い者や社会

の底辺に蠢く人々を、さらに下から見上げる視線、ゴミも人間もいずれ「河口へ」(氏の著作)へ集積され、黄泉へ誘うのに・・・。

こうした視座は、平成の山本周五郎を思わせる。また、氏は全国の神社巡りを実践しているが、何が氏を駆り立てるのか？ 自らのアイデンティティを求める旅なのか？ 「虚空遍歴」の旅なのか？



## 放送大学見学記

押尾 紀子さん (千葉県立衛生短期大学図書館)

5月21日に開催された「総会並びに講演会」。会場はわが大学の真向かいにある放送大学でした。幕張新都心の一角に位置し付近には、海外職業訓練協会 OVTA 図書館、ジェトロ・アジア経済研究所図書館(今年12月オープン予定)がある。

放送大学附属図書館は、図書20万冊(その内洋書8万冊)雑誌700タイトルを所蔵し、インターネット上で検索可能。全国に学ぶ学生の図書館として十分に機能している。3層にわたる閲覧部門にカウンターは1階入口にのみあるが、各所に用意されている「図書館案内」の画面が利用を助けている。1階では参考図書、地図、マイクロ資料のほかこの大学を特徴づける放送教材をはじめとする映像音響資料の利用ができる。そして又、情報検索室があり、OPACはもちろん新聞、百科事典、目録等のCD-ROMを自由に利用できる。2階には図書の開架書架と雑誌のバックナンバーをおさめた集密書架があり自由に利用できる。3階は雑誌コーナーと展示コーナー、グループ視聴室になっている。当日は普段見ることが出来ない貴重書も見せていただき充実した施設見学でした。また、放送局も見学出来、ちょうど夏に放映する学校司書の科目を撮り終えたばかりでした。

本学図書館の不十分な蔵書を補うように、衛生短大の学生が慣れた様子で利用させてもらっている姿。それを見て有り難く感じると同時に申し訳なく思いました。この紙面をおかりして御礼申し上げます。

最後になりましたがお忙しい中貴重な時間をさいて下さった放送大学の皆様本当にありがとうございました。又、事務局の方々お世話になりました。



## インターネット研修会

羽田 久則さん (千葉市立南部図書館副主査)

6月24日(木)千葉大学附属図書館においてインターネットの研修が行われました。千葉大学附属図書館のホームページは、1994年に開設、今年、館内職員によるデザインコンペによりリニューアルされました。

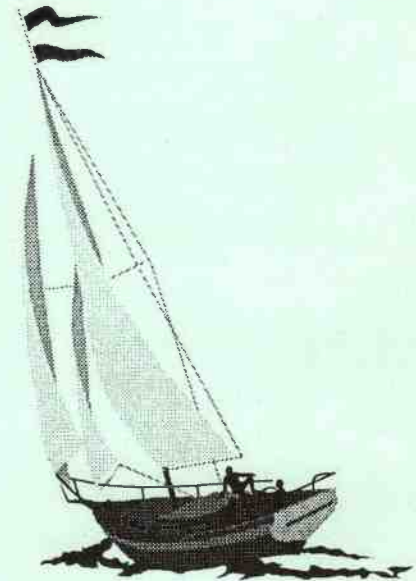
とっても落ち着いたデザインで、より使いやすくなっているとのことでした。

ホームページには、双方向的な通信が可能であるインターネットの特長を利用して、①OPACでの蔵書検索、②TRC目録の貼り付け、③購入希望理由を記入できること、「千葉大学教員の選んだ100冊」では、学生からのコメントを受け付けるなどの工夫がされています。

資料の検索方法としては、OPAC 千葉大学蔵書検索と、国公私立大学等の多くが参加している、学術情報ネットワークの共同目録により、全国の各参加機関の蔵書検索ができます。ホームページで蔵書検索できる公共図書館は少ないだけに、学内LANシステム、電子ジャーナルの試行など、当然のことなのでしょうが、学術研究の分野でのインターネットの利用は大変進んでいると感じました。

附属図書館の1階には、20台あまりのインターネットパソコンが配置され、留学生専用のパソコンコーナーもあります。また、ロビーには3台のテレビにより、BS-1、CNN、BBCの衛星放送を見ることができます。このパソコンを利用して、説明を受けながらの、初めてのインターネットとなりましたが、広大な情報の波間を漂うのは楽しいもので、予定時間を忘れる程でした。

長い時間にわたり、ご説明くださいました千葉大学附属図書館の皆様、ありがとうございました。



千葉市公共図書館が千葉大学附属図書館で実施した本研修は、ネットワーク協議会会員相互の交流研修として実施しました。(事務局)

---

### ネットワーク通信 No.4

1999年8月20日

発行：千葉市図書館情報ネットワーク協議会

事務局：千葉市教育委員会生涯学習部図書館開設準備室

〒260-8730 千葉市中央区問屋町1番35号

TEL 245-5976 FAX 245-5986